



演習では第3中隊第3小隊として月の輪工法の作業に励みました



防災展も開催され、豪雨が体験できる「雨ニティー号」には長い列

東北水防技術大会で実施した工法

月の輪工法

堤防の裏側などに漏水した箇所に土のうを半月型に積んでいき、その中に水をためることで、漏水箇所の拡大を防ぎます。

シート張り工法

水の流れて、堤防が削り取られるのを防ぎ、水の浸透を防ぎます。防水シートの下部に土のうの重しを付けて使用します。



県代表として東北水防技術大会に出場した市消防団員

北上川上流総合水防演習に参加
水防技術大会には県代表で出場

平成27年度北上川上流総合水防演習が5月24日、盛岡市東北の北上川河川敷で開催されました。演習には、流域15市町の水防団や関係機関から1960人が参加。水防工法や後方支援などの実践訓練を通して、水害時の連携を確認しました。

演習には、市消防団第14分団から第36分団までの団員23人が参加。川裏への漏水防止として「月の輪工法」に取り組みました。また、演習中には、東北水防技

術大会も開催され、市消防団第1分団から第13分団までの団員26人が県代表として出場。「月の輪工法」と「シート張り工法」の2つの水防工法で、他県の水防団とその技術を競いました。本市の水防団は、惜しくも入賞を逃しましたが、県の代表として、日頃の訓練の成果を披露しました。

なお、同演習は、毎年5月の「水防月間」に合わせて、東北6県の持ち回りでっており、本県での開催は7年ぶりでした。



瑞宝双光章(消防功勞)

前八幡平市消防団長
たかはし もりお
高橋 守男 さん

=畑= 70歳

高橋守男さんは、昭和39年4月に旧松尾村消防団に入団。同団の副団長や市制施行後の市消防団松尾地区副団長などを歴任し、平成21年9月から市消防団団長を務められ、26年3月まで市消防団の強化などに尽力されました。

高橋さんは「支えてくれた周りの皆さんのおかげ。今後も消防行政に貢献したい」と、意欲を燃やしました。



旭日双光章(地方自治功勞)

元八幡平市議会議員
せき よしゆき
関 義征 さん

=赤坂田= 70歳

関義征さんは、昭和59年11月、旧安代町議会議員に当選。市制施行後は市議会議員を引き続き務められ、平成22年4月まで、町勢、市勢の発展に尽力されました。また、消防団員や交通指導隊員としても地域に貢献されました。

関さんは「夢にも思わなかった。地域での活動が認められたようで嬉しい」と、受章の喜びを語りました。

春の叙勲
受章おめでとうございます

もしもに備え、官民で連携

市内の郵便局9局
みちのくコカ・コーラボトリング(株)

と災害時の協定結ぶ



市内全9郵便局と災害発生時における協力に関する協定に調印



握手を交わす田村正彦市長(左)と谷村広和社長
メッセージボード機能を説明する谷村社長

市は、5月11日、市内全9郵便局(大更、田頭、平館、寺田、松尾、柏台、荒屋、赤坂田、田山)と「災害発生時における市と市内郵便局の協力に関する協定」を結びました。

調印式は市役所で行われ、市内郵便局を代表し、田頭郵便局の高橋憲人局長と田村正彦市長が協定書に調印。災害時の協力関係強化を誓いました。

市と郵便局は、これまで避難所への郵便箱設置などの協力覚書を結んでいましたが、今回の協定により、被害情報の共有、避難先リストの相互情報提供などが加えられ、連携を強化しました。

市は、5月20日、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社(谷村広和社長)と「災害時における飲料の確保に関する協定」を結びました。

この協定では、災害発生時、市が飲料を同社に要請した場合、確保に協力することが盛り込まれています。

同日、市役所結のひろばには同社の「メッセージボード搭載型地域貢献自動販売機」が設置されました。この自販機は、各種情報がメッセージボードに表示されるほか、緊急時は、災害情報に切り替わり、自販機内の飲料が無償提供されます。

ボックス
古着回収BOXをご利用ください

市は、4月から市役所と西根・安代両総合支所に古着回収BOX(回収ボックス)を設置しています。

■回収日時 祝日を除く月曜日から金曜日の午前8時半から午後5時15分まで

■回収品目 ①衣類全般・帽子・ベルト ②バッグ・かばん ③靴類。①、②、③の各品目ごとに、市指

定のごみ袋など中身の見えるビニール袋に入れ、持ち手を縛ってから、回収ボックスに入れてください。ただし、各品目には、回収できないもの(汚れのひどいものなど)もありますので、ご注意ください。

詳しくは、市役所市民課環境衛生係(☎・内線1068、1069)まで。



ご利用の際は、回収のルールを守るようお願いいたします